

設計内容説明書(省エネルギー性)

断熱等性能等級用
在来木造・2×4工法用

建築物の名称:

2025年4月以後に着工する住宅で目標等級が「4」である場合は、作成不要です。

確認項目		設計内容説明欄		設計内容 確認	
		設計内容	記載図書		
目標等級		☐ 等級4 ☐ 等級5 ☐ 等級6 ☐ 等級7		☐ 適 ☐ 不適	
地域区分		・地域区分 () 地域			
適用する基準		☐ 性能基準 ☐ 仕様基準			
・性能基準 による場合	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率UA (W/m ² ・K)		☐ 計算書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	冷房期の 平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率ηAC ()			
・仕様基準 による場合	躯体の断熱性能等		☐ 熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	開口部の緩和措置		☐ 開口部の緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
	躯体の 断熱性能 等	断熱材の 仕様	屋根 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	
			天井 ()		
			壁 ()		
			床 外気に接する部分 () その他の部分 ()		
土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()					
開口部の 断熱性能 等	窓・ドア等 の断熱性	建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐		
		窓・ドア等 の日射 遮蔽措置		方位 ガラスの日射侵入率等 ひさし・軒・付属部材等 () () () () () () () () () () () ()	
結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) ☐ 設置 ☐ 省略 ☐ 通気層の設置(断熱構造とする場合) ☐ 屋根 ☐ 有() ・防風層の設置() ☐ 省略 ☐ 外壁 ☐ 有() ・防風層の設置() ☐ 省略		☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適

注1) 2025年3月以前に着工する住宅のフラット35の断熱構造等に関する基準は、次のいずれかになります。
①断熱等性能等級4以上及び一次エネルギー消費量等級4以上
②建築物エネルギー消費性能基準(別途、結露の発生防止対策が必要です。)
①により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書をご利用ください。
また、②により申請を行う場合は、建築物エネルギー消費性能基準用の設計内容説明書をご利用ください。

注2) フラット35S(金利Aプラン)「省エネルギー性」に関する基準は、住宅性能表示制度の断熱等性能等級5以上及び一次エネルギー消費量等級6になります。
本基準により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書をご利用ください。

注3) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注4) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。